

塩山中学区ブロック交流研究会

「小・中学校の交流を図る中で、地域の様子や子どもたちの様子を知り、
連携して塩山中学校区の子どもたちを育てていこう。」

I 主題設定の理由

「地域で子どもを育てよう」の考えをもとに地域に開かれた学校づくりが進められている現在、学校現場においても小学校・中学校の連携の必要性が高まり、連携が進められてきている。塩山中学区ブロック交流研究会においても、小学校・中学校の教職員が共通理解を深め、同一の課題意識のもと、子どもたちの育成にあたる必要がある。そのため、小学校・中学校の交流を進め、地域や子どもたちの様子を知り、教育活動を実践していく。

II 研究の具体的内容

1. 第1回ブロック交流研究会 「学習会」

(1) 日時 7月30日(水) 13:30～16:00

(2) 目的 構成的グループ・エンカウンターについて体験することで理解を深め
今後の学年・学級経営に役立てる。

(3) 内容

学習会 「ふれあいと自我発見のSGE（構成的グループ・エンカウンター）」
講師 長尾雅裕先生（甲州市カウンセラー）

甲州市「確かな学力」育成プロジェクトの学級集団づくりに関わって行った。構成的グループ・エンカウンターの定義や原理等、基礎的概念の講義から始まり、後半は演習を行った。エンカウンターは演習を行うことで、スキルを向上するだけでなく、自分自身への気づき・自己理解が大切だとするエンカウンターを行う上での心構えを知ることができ、今後の集団づくりに生かせる内容であった。

2. 第2回ブロック交流研究会 「塩山中学校授業公開および交流会」

(1) 日時 11月12日(水) 14:00～16:30

(2) 目的 塩山中学校の授業の様子を小学校の教職員が参観し、交流を図る中で
塩山中学校学区の課題を明らかにし、連携して子どもたちを育てていく。

(3) 内容

ア 塩山中学校の授業の様子を参観する。

イ 1・2・3学年の分科会に分かれ、授業内容や学年の様子をもとに話し合い
を行い、各校の課題や小中の連携について検討する。

3. 第3回ブロック交流研究会

(1) 日時 1月21日(水) 14:00~16:30

(2) 目的 塩山南小学校の授業の様子を小中学校の教職員が参観し、交流を図る中で、塩山中学校学区の課題を明らかにし、連携して子どもたちを育てていく。

(3) 内容

ア 塩山南小学校の授業の様子を参観する。

イ 低・中・高学年の分科会に分かれ、授業内容や学年の様子をもとに、授業改善・学力向上のために各校で取り組んでいること、確かな学力育成に関わる各校の状況などを柱とした話し合い・情報交流を行う。

II 成果と課題

1. 成果

- ・小中の先生方で一緒に何かをすることは、教員同士で交流を深めることができ、とてもよかった。
- ・学習会では、甲州市全体で取り組んでいる集団づくりにかかわる実践的な内容を学ぶことができた。塩山中学校区の子どもたちに向けて、同じ認識をもって集団づくりにあたることができた。
- ・カウンセリングや構成的グループ・エンカウターの必要性や意義について学習することができ、即実践につなげられるエクササイズを体験的に学ぶ事ができた。
- ・小学校、中学校の授業参観を行い、それぞれの発達段階に応じた学習規律や授業の構造化の様子を見ることができた。
- ・学力向上のための各校の取り組み状況を情報交換し、各校の工夫、試行錯誤、課題となっていることを知ることができた。今後、進めるべき方向性を共有することができた。

2. 課題

- ・全体が集まって学習会をする形式がとられたが、地域を知ったり教材化するための臨地研修を行ったり、ものづくりや体験活動を取り入れるのもよいのではないかと、という意見が多く、研究の持ち方を検討していく必要がある。
- ・同じブロックの先生方が集まって情報交換する機会は大変貴重であり、有意義であった。小中連携や小学校間での共通認識がもてるような話し合いの場がより多くあるとよい、また、少人数でざくばらんに話し合ったりするような機会があるとよいという意見もあった。
- ・小中の交流授業、例えば、中学生が小学校に行って出前授業をしたり、6年生が中学入学に向けて授業体験をしたりするなど、児童・生徒が交流する機会があってもいい。より充実したブロック研究になると考える。

(ブロック長 吉本賢司)